

ニュースリリース

(公財)さっぽろ青少年女性活動協会
 こども育成課
 ～街とともに 未来を育む 人づくり～

こども育成課・こども劇場課連携研修



R4年度『人形劇ゼミナール』がスタートしました。

札幌市児童会館・ミニ児童会館を管理運営している(公財)さっぽろ青少年女性活動協会こども育成課では、各部門と連携し、部門の専門性をいかして児童会館での子どもの豊かな体験活動を広げるために各種研修を行っています。今回は、そのひとつ、こども人形劇場「こぐま座」・こどもの劇場「やまびこ座」を受け持つこども劇場課と合同で行っている人形劇制作を学ぶ『人形劇ゼミナール』をお伝えします。



フラフープからどんな遊び、動物ができる？この創造力が鍵になります。



市民人形劇団の育成経験豊富な矢吹英孝氏を講師に迎えています。

本研修は、このコロナ禍において、「休館が続くなか、劇場・人形劇の灯を灯し続けたい」(こども劇場課)、「子ども文化の創造を大切にしたい」(こども育成課)と互いの思いがリンクし3年度目の実施となります。

「子どもたちへ人形劇を教えられるスキルを学び、劇団を立ち上げたい」

「子ども運営委員会で「新しいものにチャレンジ」とテーマを設けた。

まず、担当の自分からはじめ、子どもたちとこの体験を共有したい」

など、人形劇をとおして、その先の活動を描いた両課職員が受講しています。

講義は、人形劇団を組みグループワークで進めます。これは、技術の習得はもちろんのこと、受講者として得られる気づき、体験を通じて私たちの原点でもあるグループワーカーとしての成長も研修の一環としているためです。ここでの職員の成長は、子どもたち一人ひとりの可能性、個性が発揮できる場としての児童会館活動へと広く活かされていきます。

今年度は4月27日に開講し7月の発表公演まで全12回行われます。

ニュースリリースでは、今回、結成されました5劇団の発表公演(7月18日(祝・月))の様子を公演後リリースいたします。

(公財)さっぽろ青少年女性活動協会こども育成課では、子どもたちの目的意識を持った体験機会をつくるため、職員のスキルアップを大切にしています。学び得た知識と技術を活かして、あそびの持つ無限大の可能性を引き出す児童会館運営を実施していきます。



<(公財)さっぽろ青少年女性活動協会>

札幌市児童会館、ミニ児童会館をはじめ、こどもの劇場やまびこ座・こども人形劇場こぐま座、若者活動センター・若者支援総合センター、青少年山の家、定山溪自然の村、北方自然教育園、千歳市児童館・学童クラブの管理運営をとおして、「人とのつながりによる魅力あふれる未来社会の創造」を実現していきます。

<本件に関するお問い合わせ先>

こども育成課 担当 細川 ikuseika-release@syaa.jp TEL011-671-4121
 (公財)さっぽろ青少年女性活動協会 〒063-0051 札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10
 <HPアドレス> <http://g-kan.syaa.jp>

